

笹川記念保健協力財団 奨学金支援

助成番号：2017B1-006

(西暦) 2018年 3月 14日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団

会長 喜多悦子 殿

2017年度奨学金支援

完了報告書

標記について、下記の通り完了報告書を添付し提出いたします。

記

所属機関・職名 徳島大学大学院 保健学専攻 ストレス緩和ケア分野

氏名 中野 貴美子

2017 年度 奨学金支援（国内） 完了報告書

徳島大学大学院 保健学専攻
ストレス緩和ケア分野
博士前期課程 1 年 中野貴美子

1. がん専門看護師に必要な 33 単位を取得

2017 年度前期では、がん専門看護師の資格取得のために必要な科目として、臨床腫瘍学概論、ヘルスアセスメント特論、病態生理学特論、ストレス緩和ケア看護学特論Ⅰ、がん看護学特論Ⅰを受講し、10 単位を得ました。すでに、前大学院で受講した看護管理学、看護倫理、看護研究方法論の共通科目の単位は、日本看護系大学協議会に確認し、本大学院で 3 科目 6 単位が認定されることになりました。9 月は、集中講義で、コンサルテーション論と、看護教育学を受講し 4 単位取得しました。後期では、臨床薬理学特論、ストレス緩和ケア看護学特論Ⅱ、がん看護学特論Ⅱ、がん看護学演習を受講し 10 単位取得しました。2018 年 1 月から 1 か月間、徳島大学病院の呼吸器内科でがん看護学実習Ⅰを行い、今年度は合計 33 単位を取得できました。来年度は、課題研究と残りの実習を行う予定です。

2. 学会や臨床研究検討会に参加

2017 年 6 月、横浜で開催された日本緩和医療学会に参加し、新しい知見を得ることができました。学会に合わせて開催された JORTC 第 46 回臨床研究検討会にも参加し、現在進行中の緩和医療に関する臨床試験の進捗報告や、プロトコール作成前の臨床研究の報告などを聞き、臨床研究に必要な知識を得ることができました。さらに、11 月、東京で、PaCCSC と JORTC 共催の豪日緩和ケア研究交流シンポジウム Aust-Japan Palliative Care Trials Project (AJPCT Project)に参加し、緩和ケアにおける臨床研究の方法論を学ぶことができました。今後も、臨床研究に関する知識を深めていきたいと思えます。

3. 課題研究の研究計画

現在、徳島大学病院の細胞治療センターに勤務をしており、臨床と大学院の両立をしています。普段は臨床現場にいるため、大学院で事例検討を行うことで、現場の問題が少しずつ明らかになってきます。がん専門看護師には、現場の問題を解決する方法を考えることが求められるため、事例を通して現場の問題を丁寧に纏めることが大事だと思います。

私が勤務している病棟では、造血幹細胞移植患者の移植後の身体活動量の低下が問題となっています。先行研究では、無菌室在室中の平均歩数を測定した結果、無菌室在室中の平均歩数は約 200 歩と、極めて歩数は少なく不活動状態であることが報告されています。さらに、移植前後で、握力や膝進展筋力を測定した結果、移植後はそれらが約 20%低下すると報告があります。造血幹細胞移植患者は、移植前に身体活動量をあげることが求められますが、身体的に辛い状態で身体活動を行うためのモチベーションを維持することは極めて難しい状況です。

課題研究では、造血幹細胞移植患者を対象に、万歩計や筋力などの身体活動量を含めた身体活動量を測定し、身体活動に対する動機をインタビュー調査で明らかにしたいと思えます。3月中旬に、倫理委員会に研究計画書を提出しました。4月に倫理審査を受けて、5月から研究を始められるようにしたいと思えます。

5. 謝辞

今年度は、がん専門看護師に必要な単位を33単位取得することができました。さらに、学会や臨床研究検討会に参加し、課題研究を行うための研究会議を行うことができました。多大なご支援を賜りまして、誠にありがとうございました。